

「心に残る文化財子ども塾」指導案

1 日 時

令和7年5月15日（木）9：50～10：45

2 場 所

松江市立美保関中学校あおぞら学級教室・昇降口横テラス

3 対 象

あおぞら学級2名（1年生1名、2年生1名）

4 指導者

社会科担当、支援員、埋蔵文化財調査センター職員

5 主 題

古代体験

6 ねらい

火おこしや勾玉づくりの体験を通し、古代の人々の生活や文化への理解を深める。

7 展 開

時間	学習内容	教師の支援及び留意点	準備物
9：50 〔あおぞら学級教室〕	あいさつ 美保関の遺跡を知る 出土品を観察する (講師)	遺物の扱いに気をつけ させる	プリント 出土品
10：05	火おこしガイダンス (花井)	軍手など持ち物の確認	軍手（個人）
10：10 〔昇降口横テラス〕	火おこし体験（講 師）	ペアで火おこしに取り 組む 火傷に気をつけさせる	火おこしキット バケツ
10：40 〔あおぞら学級教室〕	授業の振り返り（感 想発表）（講師）	火傷に気をつけさせる	アンケート用紙

4. 準備

○美保関中学校

長机1台（あおぞら教室のものを使用）、電子黒板、バケツ（水入れ）

○生徒

筆記用具・汚れてもよい服装・軍手

○埋文センター

出土品・学習用資料（プリント）、勾玉作成キット、やすり（棒やすり・紙やすり・レンガ）・紐・火おこしキット（ゆみぎり・白・もぐさセット・蠟燭・灰皿・段ボール板）・アンケート用紙（教諭用・児童用）